愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【対面】経営学Ⅱ		
担当者(Instructors)	田村 豊	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本講義では、経営学の基本学説や諸理論について学び、企業経営に必要なこととは何かを考えていきます。あわせて、企業がかける諸問題について考察することで様々なものの見方・考え方を培っていきます。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	授業の計画・進め方などについて解説します。	□
第2回	株式会社とは	株式会社の基本的特徴について解説します。	□
第3回	所有と経営の分離	株式会社の発展的形態である所有と経営の分離について解説します。	□
第4回	競争戦略１	大量生産大量販売を前提としたコスト・リーダーシップ戦略について解説します。	□
第5回	競争戦略２	商品の魅力を最大限に高めるための差別化戦略について解説します。	□
第6回	管理とは何か	なぜ、企業をはじめとする組織において管理が必要なのか解説します。	□
第7回	伝統的管理論ーテイラーの科学的管理法	テイラーの科学的管理法について解説します。	□
第8回	人間関係論の生成と展開	メイヨー・レスリスバーガーによる人間関係論について解説します。	□
第9回	日本的経営１	日本的経営の「三種の神器」とされる終身雇用、年功制、企業別組合について解説します。	□
第10回	日本的経営２	「三種の神器」を最大限活用した日本的経営の短所について解説します。	□
第11回	企業分析ートヨタ自動車１	トヨタ独自の高生産産体制の基本となるトヨタ生産方式について解説します。	□
第12回	企業分析ートヨタ自動車２	トヨタ独自の高生産産体制の基本となるトヨタ生産方式について解説します。	□
第13回	企業分析ートヨタ自動車３	トヨタで働いている労働者の状態について解説します。	□
第14回	現代企業が抱える諸問題	日本の企業が抱えている諸問題について解説します。	□
第15回	まとめ	これまでの講義の総括をします。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

各回の内容について、授業前に主だったキーワード（講義内で示す）について2時間程度調べその内容を理解するように努めて授業に臨むこと。授業後は、授業前に調べたことと講義内容を照らし合わせ、疑問点を抽出し2時間程度まとめること。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

解答例を示し全体で共有する機会を持ちます。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019地域ビジネスDP1	経営学の基本的な学説について理解・説明できるか。 企業における人・モノ・お金・情報の各経営資源の特質をふまえて、諸問題について説明・理解できるか。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
50%			20%	30%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

講義内で不定期にレポート課題を実施する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし。プリントを配布します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	講義内で紹介します。	
2		
3		
4		
5		